平成 23 年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年8月 10 日

上場会社名	日精エー・エス・ビー機械株式会社			上場取引所	大
コード番号	6284	URL	http://www.nisseiasb.co.jp		
代表者	(役職名) 代表取締役社長		(氏名) 青木 高太		
問合せ先責任者	(役職名) 取締役経理部長		(氏名) 入江 智重		TEL 0267-23-1560
四半期報告書提出予定日	平成 23 年8月 11 日				
配当支払開始予定日	―				

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年9月期第3四半期の連結業績(平成 22 年 10 月1日～平成 23 年6月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年9月期第3四半期	13,647	9.5	2,321	29.6	2,130	26.0	1,308	9.9
22 年9月期第3四半期	12,461	12.7	1,790	65.0	1,690	142.1	1,190	416.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年9月期第3四半期	87.12	―
22 年9月期第3四半期	79.28	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年9月期第3四半期	20,573	10,874	52.9	724.14
22 年9月期	20,280	9,785	48.2	651.60

(参考) 自己資本 23 年9月期第3四半期 10,874 百万円 22 年9月期 9,785 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年9月期	―	0.00	―	15.00	15.00
23 年9月期	―	0.00	―		
23 年9月期(予想)				20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年9月期の連結業績予想(平成 22 年 10 月1日～平成 23 年9月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.6	2,870	19.3	2,530	32.5	1,550	21.4	103.21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他　（詳細は、添付資料4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　ー社　（社名　　）、除外　ー社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　：有

② ①以外の変更　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期3Q	15,348,720株	22年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	23年9月期3Q	331,546株	22年9月期	331,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期3Q	15,017,249株	22年9月期3Q	15,019,937株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本書（平成23年9月期第3四半期決算短信）は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本書開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業績予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
４．補足情報 …… 11
受注及び販売の状況 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成22年10月１日～平成23年６月30日、以下、当第３四半期又は当期間）におきましては、期初に当たる第１四半期連結会計期間（平成22年10月～平成22年12月、以下、第１四半期）は、前期（平成22年９月期）の活況の反動もあり、市況は低迷いたしましたが、年初（平成23年１月）から需要は急回復に転じました。その後、円の急騰、金利上昇などインドでの景況抑制化、欧州地域での経済停滞など、市場環境は変遷を続けました。当期間の受注成約状況も、この経済環境の影響を受け、第１四半期は前年第１四半期比69.6%、６ヶ月累計の第２四半期連結累計期間（平成22年10月～平成23年３月）は前年第２四半期比87.5%、９ヶ月累計の当第３四半期では前年第３四半期比94.1%の12,599百万円となりましたが、厳しい景況の中、当社ユーザーの投資意欲は、四半期ごと徐々に復調しております。また、当期間末現在の受注残高も6,158百万円（前年同期比102.7%）となりました。

一方、当期間の生産・出荷活動につきましては、受注予測の精度向上による計画生産化の促進に努めるとともに、工程全般の円滑化・効率化を図り、インド工場との連携を密にしながら納期管理の徹底に取り組んだ結果、売上高は13,647百万円（同109.5%）と増収を果たしました。

地域別売上高状況

（単位：百万円）

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第３四半期	3,428	2,727	4,922	1,305	1,263	13,647
前第３四半期	2,195	2,617	5,330	1,430	887	12,461
対前年同期比	156.2%	104.2%	92.3%	91.2%	142.4%	109.5%

米州地域においては、北米市場で、１（ワン）ステップタイプの主力機ＡＳＢ－70ＤＰシリーズ機及び大型機ＡＳＢ－150ＤＰシリーズ機の販売が順調に推移し、中南米市場を含む米州地域全体で増収となりました。地中海沿岸地域を中心に景況が悪化している欧州地域では、トルコなどで売上を維持し、地域全体では微増となりました。また、金利上昇により景況の沈静化が懸念されるインドで販売が低迷し、東南アジアを含む南・西アジア地域全体で減収となりました。また、ＡＳＢ－70ＤＰシリーズ機の販売により中国が大幅に増収となったものの、台湾・韓国の売上が減少し、東アジア地域全体では減収となりました。一方、国内は大幅な増収を達成し、回復の兆しが見えてきました。なお、当第３四半期の連結海外売上高比率は90.7%（前年同期92.9%）となりました。

製品別売上高状況

（単位：百万円）

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第３四半期	7,700	3,686	780	1,480	13,647
前第３四半期	7,176	3,241	513	1,529	12,461
対前年同期比	107.3%	113.7%	151.9%	96.8%	109.5%

主力機ＡＳＢ－70ＤＰシリーズ機の成形機・金型製品の安定した販売成果に加え、大型機ＡＳＢ－150ＤＰシリーズ機の製品も増収に貢献いたしました。一方、1.5ステップタイプのＰＦシリーズ機の製品は、南・西アジア地域での不振により減収となるとともに、小型の主力機ＡＳＢ－50ＭＢ型は、欧州などでの減退により減収となりました。以上の結果、ストレッチブロー成形機が7,700百万円（前年同期比107.3%）、金型が3,686百万円（同113.7%）、付属機器及び部品その他が、それぞれ780百万円（同151.9%）、1,480百万円（同96.8%）となりました。

利益面では、前述の増収効果に加え、受注時の採算性の管理徹底、生産拠点であるインド工場の活用度の拡充などにより、製造原価の低減化を推進した結果、売上総利益は5,898百万円（前年同期比117.2%）となるとともに、営業利益も2,321百万円（同129.6%）と大幅な増益を達成しました。また、円高の影響により為替差損（246百万円）の計上を強いられる中、経常利益は2,130百万円（同126.0%）と高い水準で伸長いたしました。

最終損益である四半期純利益は、法人税等が増加した中、1,308百万円（同109.9%）と増益を果たしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、売上債権及びたな卸資産が増加したものの、現金及び預金は大幅に減少したことから、前連結会計年度末と比べ136百万円減少し、16,040百万円となりました。また、固定資産は、生産設備の増設及びＩＴ基幹システムの構築費用の増加により、前連結会計年度末と比べ429百万円増加し、4,532百万円となりました。

流動負債は、仕入債務及び前受金の減少に加え、短期借入金の返済により、前連結会計年度末と比べ997百万円減少し、7,817百万円となりました。また、固定負債は、繰延税金負債及び長期借入金の増加により、200百万円増加し、1,881百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ1,089百万円増加し、10,874百万円となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ696百万円減少し、当第３四半期連結累計期間末では2,801百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①　営業活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比して売上は伸長したものの、受注の減少により、売上債権の増加及び仕入債務・前受金の減少等の資金の減少要因をもたらした中で、税金等調整前四半期純利益（2,150百万円）の計上により、営業活動の結果増加した資金は130百万円（前年同期：3,156百万円の収入）となりました。

②　投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場の生産設備の増設、及びＩＴ基幹システムの構築に伴う支出等により、投資活動の結果支出した資金は340百万円（前年同期：543百万円の支出）となりました。

③　財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の純減及び配当金の支払いにより、財務活動の結果支出した資金は464百万円（前年同期：1,863百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、主力機であります汎用機製品拡販に加え、新型機の市場浸透の推進、次代を担う新規製品群の商品化、及びアフリカ・南米など未深耕地域での市場開拓推進など需要の喚起に傾注するとともに、当社グループの生産拠点であるインド工場での生産対象機種の拡充や生産設備の増設を進め、増産と更なる原価抑制化に向け尽力しております。更に、新ＩＴ基幹システムを稼働し、業務の効率化、経営体制の強化を図っております。

このような中で、「（１）連結経営成績に関する定性的情報」に記載したとおり、当第３四半期連結累計期間におきましては、増収を達成するとともに、インド工場の利用度拡大によりコストを低減化し、当初の予定どおり、高い利益水準を確保することができました。

これらを踏まえ、平成23年５月13日付「平成23年９月期第２四半期決算短信」に記載した平成23年９月期の連結業績予想（平成22年10月１日～平成23年９月30日）を修正しております。修正理由につきましては、本日（平成23年８月10日）付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①　「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は13千円減少し、税金等調整前四半期純利益は17,773千円減少しております。

②　表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,519	4,144,683
受取手形及び売掛金	3,414,838	2,885,383
有価証券	―	9,972
商品及び製品	1,019,006	1,190,304
仕掛品	4,205,692	3,745,301
原材料及び貯蔵品	3,007,058	3,131,188
繰延税金資産	601,271	554,391
その他	556,917	605,283
貸倒引当金	△84,485	△89,539
流動資産合計	16,040,818	16,176,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,173,003	1,234,109
機械装置及び運搬具（純額）	653,053	678,326
土地	836,231	836,231
その他（純額）	372,775	186,504
有形固定資産合計	3,035,064	2,935,172
無形固定資産	431,266	265,659
投資その他の資産		
投資有価証券	466,620	430,236
その他	712,431	593,989
貸倒引当金	△112,683	△121,394
投資その他の資産合計	1,066,368	902,830
固定資産合計	4,532,699	4,103,662
資産合計	20,573,518	20,280,631

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,377,284	3,007,604
短期借入金	2,777,717	3,049,835
未払法人税等	514,104	337,205
前受金	1,153,375	1,591,507
賞与引当金	187,332	123,818
役員賞与引当金	23,999	34,300
その他	783,915	670,566
流動負債合計	7,817,728	8,814,836
固定負債		
長期借入金	824,391	789,750
退職給付引当金	395,719	382,139
役員退職慰労引当金	197,365	164,028
その他	463,718	344,568
固定負債合計	1,881,193	1,680,486
負債合計	9,698,922	10,495,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860,905	3,860,905
資本剰余金	3,196,356	3,196,356
利益剰余金	5,442,183	4,359,095
自己株式	△201,374	△201,255
株主資本合計	12,298,071	11,215,102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,983	△51,381
為替換算調整勘定	△1,392,491	△1,378,412
評価・換算差額等合計	△1,423,475	△1,429,794
純資産合計	10,874,596	9,785,307
負債純資産合計	20,573,518	20,280,631

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	12,461,309	13,647,148
売上原価	7,428,658	7,748,618
売上総利益	5,032,651	5,898,529
販売費及び一般管理費	3,241,723	3,577,250
営業利益	1,790,928	2,321,279
営業外収益		
受取利息	72,159	63,310
受取配当金	7,511	9,256
その他	32,425	32,394
営業外収益合計	112,096	104,962
営業外費用		
支払利息	82,359	47,490
為替差損	115,061	246,381
その他	14,893	1,455
営業外費用合計	212,314	295,327
経常利益	1,690,710	2,130,915
特別利益		
固定資産売却益	4,738	4,796
投資有価証券売却益	11,562	－
貸倒引当金戻入額	27,827	2,169
償却債権取立益	21,099	36,726
特別利益合計	65,228	43,693
特別損失		
固定資産売却損	2,539	1,875
固定資産除却損	3,280	4,302
投資有価証券評価損	72,721	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	17,759
特別損失合計	78,541	23,937
税金等調整前四半期純利益	1,677,396	2,150,670
法人税、住民税及び事業税	654,923	778,355
法人税等調整額	△168,235	63,967
法人税等合計	486,688	842,323
少数株主損益調整前四半期純利益	－	1,308,347
四半期純利益	1,190,708	1,308,347

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,677,396	2,150,670
減価償却費	304,692	238,312
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△146,056	△13,622
受取利息及び受取配当金	△79,670	△72,567
支払利息	82,359	47,490
売上債権の増減額（△は増加）	20,789	△546,755
たな卸資産の増減額（△は増加）	△317,402	△244,679
仕入債務の増減額（△は減少）	1,323,058	△608,043
前受金の増減額（△は減少）	312,441	△419,300
その他	271,373	166,506
小計	3,448,983	698,010
利息及び配当金の受取額	72,974	79,869
利息の支払額	△80,037	△48,477
法人税等の支払額	△285,424	△598,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,156,495	130,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△310,050	105,554
有形固定資産の取得による支出	△109,267	△342,679
投資有価証券の取得による支出	△23,758	△1,800
その他	△100,247	△101,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543,323	△340,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△808,485	△206,006
長期借入れによる収入	60,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△962,730	△527,163
自己株式の取得による支出	△950	△119
配当金の支払額	△150,340	△224,176
その他	△797	△6,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,863,303	△464,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△187,315	△22,559
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	562,552	△696,983
現金及び現金同等物の期首残高	2,857,666	3,498,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,420,219	2,801,940

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

当社グループは、ストレッチブロー成形機、専用金型、付属機器及び部品の製造販売において単一事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報については該当ありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

	日本（千円）	米州（千円）	欧州（千円）	アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,160,100	2,088,856	2,581,169	5,631,183	12,461,309	－	12,461,309
(2) セグメント間の内部売上高	5,956,919	51,664	4,496	2,077,221	8,090,301	(8,090,301)	－
計	8,117,019	2,140,521	2,585,666	7,708,404	20,551,611	(8,090,301)	12,461,309
営業利益	363,861	92,156	166,109	1,125,266	1,747,394	43,533	1,790,928

（注）１．本邦以外の国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 国又は地域の区分方法……地域的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域……米　州：北米、中米、南米

欧　州：西欧、北欧、東欧

アジア：東アジア、南・西アジア、オセアニア

〔海外売上高〕

前第３四半期連結累計期間（自平成21年10月１日　至平成22年６月30日）

		米州	欧州	アジア	計
Ⅰ　海外売上高	（千円）	2,195,603	2,617,424	6,760,651	11,573,680
Ⅱ　連結売上高	（千円）	－	－	－	12,461,309
Ⅲ　海外売上高の連結売上高に占める割合	（%）	17.6	21.0	54.3	92.9

（注）１．国又は地域の区分方法及び各区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 国又は地域の区分方法……地域的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域……米　州：北米、中米、南米

欧　州：西欧、北欧、東欧

アジア：東アジア、南・西アジア、オセアニア

２．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年６月30日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ストレッチブロー成形機、専用金型、付属機器及び部品の製造販売において単一事業を営んでおり、当社は最終顧客の地域別に当社製品の販売戦略を立案し、子会社と連携して事業活動を展開しております。

従って、当社グループの報告セグメントは、販売・生産体制を基礎とした最終顧客の地域別のセグメントから構成されており、「米州」、「欧州」、「南・西アジア」、「東アジア」、「日本」の５区分を報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	3,428,711	2,727,070	4,922,328	1,305,076	1,263,961	13,647,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,428,711	2,727,070	4,922,328	1,305,076	1,263,961	13,647,148
セグメント利益	814,033	654,072	1,294,097	141,441	239,984	3,143,630

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第３四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成23年６月30日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,143,630
全社費用	△709,984
その他の調整額	△112,366
四半期連結損益計算書の営業利益	2,321,279

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

受注及び販売の状況

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しているため、前年同期比較に関する情報は記載しておりません。

①　受注状況

セグメントの名称	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）			
	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
米州	2,902,572	－	988,579	－
欧州	2,161,710	－	548,986	－
南・西アジア	4,788,554	－	2,782,578	－
東アジア	1,327,238	－	1,165,704	－
日本	1,419,807	－	672,520	－
合計	12,599,883	－	6,158,369	－

②　販売実績

セグメントの名称	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）	
	販売実績額（千円）	前年同期比（％）
米州	3,428,711	－
欧州	2,727,070	－
南・西アジア	4,922,328	－
東アジア	1,305,076	－
日本	1,263,961	－
合計	13,647,148	－